

# 辰巳会二十周年記念全国大会

去る日も遠き昭和三十五年、神戸国際会館に於いて第一回目の全国大会が開催されてから星は流れて二十年の歳月が経過して今日に至りました。今回は之を記念としての大会を市内祥龍寺を背景に諸兄をお招き致しました。

当日（五月十四日）は定刻を待たず会場を埋め尽くされた。意外の好天に恵まれて翠色も鮮かに春風は吹き流れ、境内は一幅の画に優る光景を呈した。祥龍寺の山門を這入った右側には、之から始まらんとする大屋根葺替の喜捨札が所狭き辻に掲げられている。之には人情紙よりもうすいといわれている世相に對する奇特と言うべく感激に堪えない。

寺鐘を合図に祥門入場に会員一同襟を正して席に座わる。法太鼓から法要はじめやかに進んでゆく。鈴木会長、大幡本部幹事代表、各支部幹事ら白菊を以て献花、物故会員の慰靈の合掌を済ませた。

祭典も滞りなく終ったところで宴に入る。

今日の司会は藤田幹事に依つて進行してゆくが、境内

には明治、大正にかけての流行歌のレコードが流れ一段とムードを高めた。本日特に御招きした神戸日本画家井上先生の乱れ太鼓の妙技に拍手を吝まなかつた。先生には重ねてこゝに感謝申上げる次第……。

本日は日商岩井植田三男社長から銘酒百万両が祝つて来られた。そこで早速鈴木会長の御手に依つて槌が振られ鮮かな鏡割りに芳酒の香りが溢れた。大杯の廻し呑み、外島氏の乾盃が終つて、庭内の模擬店にパット花が咲く。関東煮、そば、ぜ

古出 よね  
小川多喜子  
奥田 さき  
松井 竹代  
谷口 正子  
高畠 ちよ  
(敬称略)



▲日本画家井上 一氏

▼外島健吉、伊藤邦輔、花登筐（略敬称）



色の花登筐先生ら同伴一場の御挨拶があつた。明春四月が待ちどうしい。

閉会時が迫つたので松本九州支部長の万歳三唱声高らかに、最後に柳田幹事に依つて辞が述べられ再会の日を約して四散した。

仕合せはどこから来るや初牡丹 義一

五五・五・一四寓居にて

## ◆会務報告◆

五五・五・一四 於 祥龍寺

幹事 小倉 五郎

このたびは取り立て、申し上ぐ可き会務報告は御座居ませんが、既に皆様方には新聞その他で御承知の通り、来年二月二〇日より九月一五日迄一八〇日間「海の文化都市」として当市に於て神戸博所謂「ポートピア'81」が開催されますので、目下着々と各施設及び各パビリオンの建設が急ピッチで進められています。

つきましては来年の此の全国大会は先年万博における国際会議場において開催致しました様に、是非この神戸博内に於て開催期間中を開きたいと考へております。然し何分にも

未だ一年近く先の事であります

関係上、現在の處何一つ具体的な事は決つておませんが来年の新

春例会には或る程度具体的な事が御報告出来るのではないかと思つております。

どうか御期待の程お願い致します。

次にこの度計らわざも大阪梅田

コマスタジアム社長伊藤邦輔さん

の御企画の下に、長らく神戸新聞に連載されました「海鳴りやます」

が舞台化に踏切られました事は恂

に慶祝に堪えない次第であります。

そして又鈴木商店の活躍の片鱗

を文芸作家花登篠先生脚色の下に

来春四月大阪梅田コマ劇場に於て

脚光を浴びる運びとなつてゐる

事であります。既にお家さん

金子、柳田両翁を始め高畑さん等

の配役も県下出身の芸達者な俳優

さん達で固められ、内容と共に見

事な演出振りが今から目の当り見

える様な心地さえする次第であります。

具体的な事につきましては幸い

今日は伊藤社長並びに花登先生も

御来場戴いておりますので、後程

具体的なお話がお伺い出来る事と

存じますので私からは省略さして

頂きます。

尚四月の上演期間中にはコマ劇場辰巳会総見を計画したいと考へておりますのでどうかこれ又御期

待下さいます様に。  
以上をもちまして会務報告とさ

御清聴感謝致します。

## 辰巳会二十周年記念全国大会出席者名簿

昭和五十五年五月十四日（水曜日）於 祥龍寺

◎北海道支部		町田叡光		田辺満寿子		田代義雄		今村三郎		井原広起		佐野寿夫		登鬼男	
嶋内桃枝		藏原同		斎藤同		後川同		小川同		大川同		梶川同		金子同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
◎東京支部		請川同		西川同		西川同		山口同		山口同		山口同		山口同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
◎中部支部		依田同		田依田同		立花同		藤井同		高橋同		沢義夫同		実花同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
◎四国支部		伊藤同		田依田同		竹下同		岡田同		本志同		清子同		宇佐美同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
◎九州支部		伊藤同		田撮子同		竹下同		岡田同		本志同		清子同		宇佐美同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
飯永英三津		阿高同		本同		本同		同		同		同		同	
外寺同		武谷同		田田同		滝高高同		末河十同		田田同		篠崎高同		柴田高同	
島岡同		岡井同		口中同		中本同		田田同		田田同		田田同		田田同	
島岡同		岡井同		口中同		中本同		田田同		田田同		田田同		田田同	
島岡同		岡井同		口中同		中本同		田田同		田田同		田田同		田田同	
島岡同		岡井同		口中同		中本同		田田同		田田同		田田同		田田同	
堀福同		布施同		藤田同		藤田同		久内同		久内同		半户同		浜橋同	
堀福同		布施同		藤田同		藤田同		久内同		半户同		浜橋同		仁花同	
堀福同		布施同		藤田同		藤田同		久内同		半户同		浜橋同		仁花同	
堀福同		布施同		藤田同		藤田同		久内同		半户同		浜橋同		仁花同	
堀福同		布施同		藤田同		藤田同		久内同		半户同		浜橋同		仁花同	
計		和千鶴子同		鷲尾同		横田同		柳田同		柳田同		柳田同		柳田同	
計		和千鶴子同		鷲尾同		横田同		柳田同		柳田同		柳田同		柳田同	
計		和千鶴子同		鷲尾同		横田同		柳田同		柳田同		柳田同		柳田同	
計		和千鶴子同		鷲尾同		横田同		柳田同		柳					